

備北丘陵公園に

Kazuyuki Ishihara produce garden in Bihoku Hillside Park

石原和幸さん プロデュース ガーデン

商工観光課観光振興係 ☎ 0824-73-1179

世界一の庭園デザイナーと 市民が庭造り

庄原市ふるさと大使であり、世界一の庭園デザイナー石原和幸さんが8月19日～21日の3日間、国営備北丘陵公園でプロデュースするガーデンを市民と一緒に造りました。

世界で活躍する庭園デザイナーから直接庭造りを学べる絶好の機会とあって、しようばら花会議のメンバーなど約30人が参加。石原さんから「ユーモアのある庭造りを家でもできるよように」と指導を受けながら、松や大きな石を配置した約700平方メートルの敷地に、ルドベキアやブルーサルビアなどを植えました。

石原さんは、備北のシンボリックな



石原さん(左から4人目)と市民と一緒にガーデン造り

ガーデンになるようお願いを込め「備北緑風庭」と名付け、「来るたびに進化し、何度お越しいただいても楽しめる庭。日本一手のかからない季節感があるすてきな庭を目指す！」と意気込みを語っていました。

この庭は、9月14日～16日に開催する「庄原さとやまガーデンフェスティバル」に合わせて公開が始まります。

庄原さとやまガーデンフェスティバルに関する情報は、商工観光課観光振興係(☎0824・73・1179)または、備北公園管理センター(☎0824・72・7000)まで。

新規助成対象 研究課題

決定

庄原市県立広島大学研究開発助成事業

企画課政策推進係 ☎ 0824-73-1112

地域活性化に向け

新たに2件を採択

市は平成17年度から、県立広島大学の研究者が有する知的資源を活用し、研究成果を商品化・事業化に結び付け、地域活性化を図るため「県立広島大学研究開発助成事業」を実施しています。

本年度の新規対象課題として、次の2件を採択しました。これらの採択課題の研究成果を、研究担当者やしようばら産学官連携推進機構と連携し、事業化・商品化へ結び付ける取り組みを進めていきます。

研究課題の内容	研究者氏名
超音波による新規害獣忌避装置の開発 <small>がいじゅうきび</small>	生命環境学部環境科学科 三苫 好治 准教授
内容：イノシシ等から農作物などの被害を防止するため、超音波による害獣忌避装置を開発し、野外実験によって効果を検証するとともに、装置の実用化を目指す。	
庄原市の環境を活かした生ハム製造と販売に向けた調査研究	生命環境学部生命科学科 村田和賀代 准教授
内容：どんぐりコロコロ豚のモモ肉を原料とした生ハム製造と販売戦略、飼養頭数増加の調査研究を行い、低価格部位の高付加価値化と通年で食べられる「地域の食」の開発および幅広い販売先の開拓を目指す。	